

事業名	地域情報通信基盤整備推進交付金事業							
事業の概要	事業年度	H19年度		事業完了日	平成20年11月28日			
	総事業費	144,620千円		交付金額	48,206千円			
	整備対象地域	飯豊町の一部(小白川地区、手ノ子地区、高峰地区、中津川地区)						
	事業の内容							
	<p>飯豊町における情報通信基盤整備(インターネット環境)は、平成19年時点で中心地ではADSLサービスが開始されていたものの、中山間地域では未だISDN回線となっていた。また、ADSL提供地域においても距離的制約から実際にブロードバンド・サービスを楽しむことができるのは全世帯の3割程度にとどまっていた。全町ブロードバンド・サービスの提供は、情報格差の是正や産業振興による地域経済の活性化だけに期待するものではなく、飯豊町の次世代を担う子どもたちへの大切な投資であると考え、全町をFTTHで整備することにより、地域間情報格差の是正と地域の活性化を図ると同時に、産業振興の発展、活性化も期待できると考え本事業を実施した。また、本事業を行ったことにより飯豊町のブロードバンド整備率は99.8%となった。ブロードバンド整備を契機とし、東日本電信電話株式会社山形支店とのIRU契約により、ひかり電話や、高速インターネットサービスの提供を受け、各種施策の展開が図られた。</p>							
BB	サービス開始日	平成20年11月1日						
	サービス形態	公設民営(IRU)						
	契約先	東日本電信電話株式会社山形支店						
		整備計画時の目標		実績				
		初年度	最終	H21年度末	H22年度末	H23年度末	H24年度末	H25年度末
	整備地域の世帯数	613	613	625	613	608	602	590
	加入世帯数	100	200	261	280	293	299	291
加入率(%)	16%	33%	42%	46%	48%	50%	49%	
評価及び課題	<p>サービスの提供開始により地域間の情報通信格差は解消され、当該地域の情報化インフラの整備は達成できた。ブロードバンドの加入率目標値は、ほぼ達成しているものの、ブロードバンドについては、高齢者が多く住む過疎地域であり、インターネットを必要としない世帯も多く、またスマートフォンやタブレット端末の普及が進んだこともあり、加入者が伸び悩んでいるのが現状である。</p> <p>今後は、運営事業者と連携しながら、加入促進を図っていくとともに、高速大容量ネットワークを活用したソフト事業の検討、ランニングコストの縮減や数年後の設備の更新費用に際し、計画性をもって取り組む必要がある。</p>							